



2024年度 上期の電気機器の状況

2024年11月21日

一般社団法人日本電機工業会

1. 経済の概況

2. 重電機器分野

2-1 概況

2-2 国内生産の状況

2-3 国内生産の増減内訳

2-4 2024年度下期 国内生産動向

3. 白物家電機器分野

3-1 概況

3-2 国内出荷の状況

3-3 国内出荷の増減内訳

3-4 2024年度下期 国内出荷動向

■ 参考資料

- IMF世界経済見通し（10月）では、2024年の世界経済の成長率は+3.2%と前回7月の予想を据え置いた。
世界経済は、今後も安定し続けることが見込まれるものの、勢いが欠けることが予測されている
- 日本経済は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
雇用・所得環境が改善しつつある中で、各種政策の効果もあり、今後も緩やかな回復が続くことが期待される
- ただし、米国・日本の政権運営の行方、海外景気の下振れ、中東地域やウクライナを巡る情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある



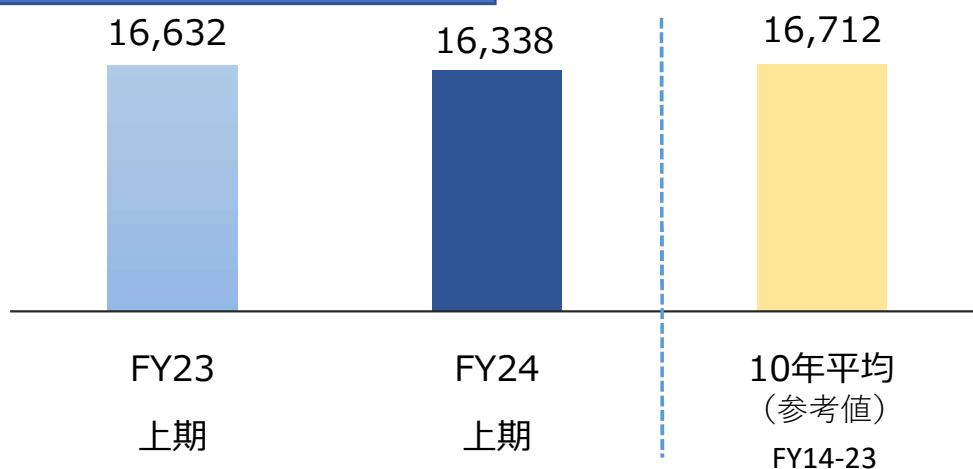
2. 重電機器分野

2-1 概況



重電機器 2024年度上期 国内生産 1兆6,338億円 (前年同期比98.2%)

重電機器 国内生産金額 (億円)



- 電力向け機器である、発電用原動機や変電機器は、前年同期を**上回った** ↑
- 産業用汎用電気機器は前年同期を**下回った** ↓

単位：億円、%	23年度上期	24年度上期	前年同期比
重電機器 国内生産	16,632	16,338	98.2

出所：経済産業省 生産動態統計

2-2 国内生産の状況（重電機器分野）

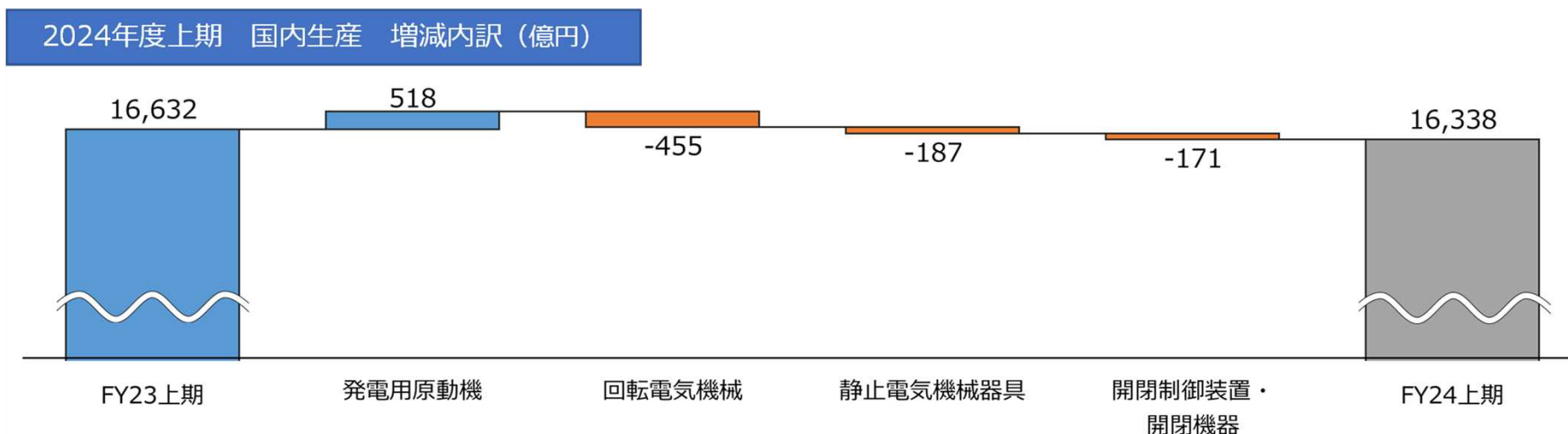


(単位: 億円、%)	2023年度 上期	2024年度 上期	前年同期比
重電機器合計(1+2+3+4)	16,632	16,338	98.2
1.発電用原動機計	1,144	1,663	145.3
ボイラ	506	487	96.3
蒸気タービン	241	249	103.4
ガスタービン	397	926	233.2
2.回転電気機械計	5,040	4,585	91.0
うち交流電動機	1,718	1,760	102.4
うちサーボモータ	549	395	71.9
3.静止電気機械器具計	3,319	3,132	94.4
うち変圧器	1,204	1,253	104.1
うち電力変換装置	1,730	1,476	85.3
うちサーボアンプ	537	394	73.3
4.開閉制御装置・開閉機器計	7,128	6,957	97.6
密閉形ガス絶縁開閉装置	324	396	122.2
うち監視制御装置	907	881	97.2
うち低圧開閉器・制御機器	2,838	2,350	82.8
うちプログラマブルコントローラ	691	420	60.8

出所: 経済産業省 生産動態統計

- 【備考】 1: 端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある
 2: 内訳詳細データについては、別紙「2024年度 上期の電気機器の状況 参考データ」をご参照

2-3 国内生産の増減内訳（重電機器分野）



主な増減要因	
重電機器合計	<ul style="list-style-type: none"> 1兆6,338億円、前年同期比98.2%と前年同期を下回った ↓
発電用原動機	<ul style="list-style-type: none"> 発電用原動機全体としては、前年同期を大幅に上回った ↑ 火力発電機市場の縮小による影響は継続しているが、ボイラは前年同期を下回ったものの、国内電力向け案件により、蒸気タービン、ガスタービンが前年同期を上回った ↑
回転電気機械	<ul style="list-style-type: none"> 回転電気機械、静止電気機械器具、開閉制御装置・開閉機器は、前年同期を下回った ↓ 電力向けが中心の、変圧器、密閉型ガス絶縁開閉装置が、前年同期を上回った ↑ 一方、製造業向けの設備投資においては、半導体、電子部品産業からの需要減による影響が継続しており、サーボモータ、サーボアンプなどの産業用汎用電気機器は前年同期を下回った ↓
静止電気機械器具	
開閉制御装置・開閉機器	

- 発電用原動機は、脱炭素化に向けた政策により火力発電市場は縮小、前年同期を**下回る** ↓ と見通している
- 電力向け中心の、変圧器、監視制御装置等は、再エネの主力電源化に伴う、次世代電力ネットワーク（送電網、配電網）の構築により、引き続き需要の増加が見込まれるため、前年同期を**上回る** ↑ と見通している
- 製造業向けの設備投資においては、半導体、電子部品産業向け需要減少の影響が下期も継続すると見ており、サーボモータ、サーボアンプなどの産業用汎用電気機器は、上期に引き続き前年同期を**下回る** ↓ 可能性が出てきた

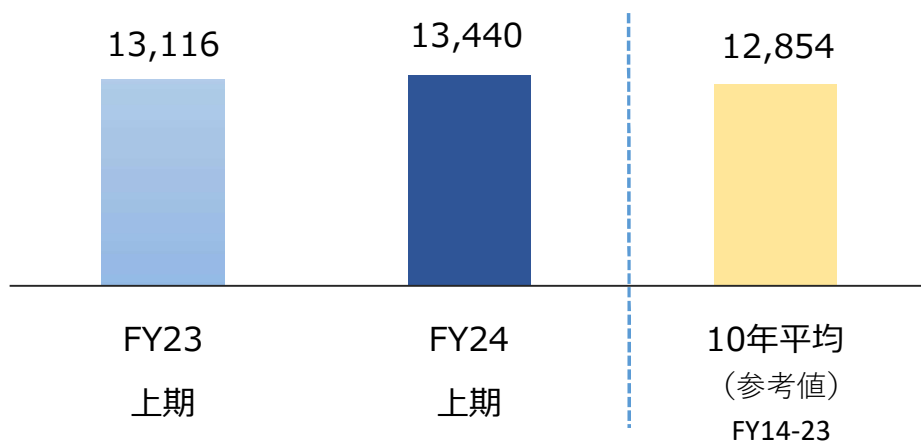
3. 白物家電機器分野

3-1 白物家電機器 概況



白物家電機器 2024年度上期 国内出荷 1兆3,440億円 (前年同期比102.5%)

白物家電機器 国内出荷金額 (億円)



- 全国的な暑さ等によりルームエアコンの出荷が好調だったほか、電気シェーバー、ヘアドライヤー等の理美容機器も好調に推移し、前年同期を**上回った** ↑
- 一方で、物価高による消費者の節約志向は継続しており、主要品目のうち冷蔵庫、洗濯機は前年同期を**下回っている** ↓

単位：億円、%	23年度 上期	24年度 上期	前年 同期比
白物家電機器 国内出荷	13,116	13,440	102.5

出所：日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計（ルームエアコン）

3-2 国内出荷の状況（白物家電機器分野）



(単位: 億円、%)	2023年度 上期	2024年度 上期	前年同期比
白物家電機器合計	13,116	13,440	102.5
ルームエアコン	4,617	5,049	109.4
電気冷蔵庫	2,316	2,136	92.2
電気洗濯機	2,017	1,904	94.4
電子レンジ	415	450	108.5
ヘアドライヤー	221	250	113.4
電気シェーバー	221	265	119.7
その他(上記品目以外)	3,310	3,386	102.3

出所: 日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)

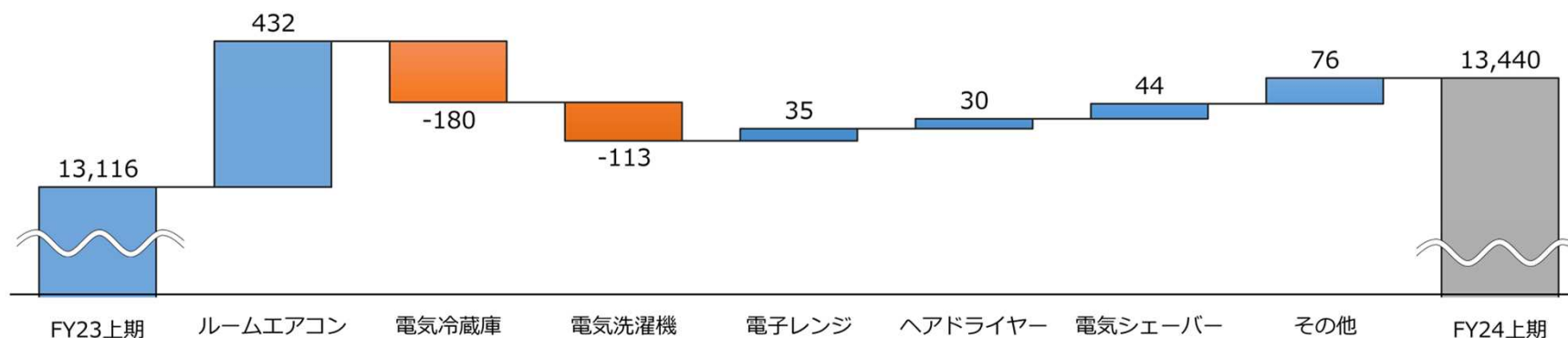
【備考】1: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合がある

2: 内訳詳細データについては、別紙「2024年度 上期の電気機器の状況 参考データ」をご参照

3-3 国内出荷の増減内訳（白物家電機器分野）



2024年度上期 国内出荷 増減内訳（億円）

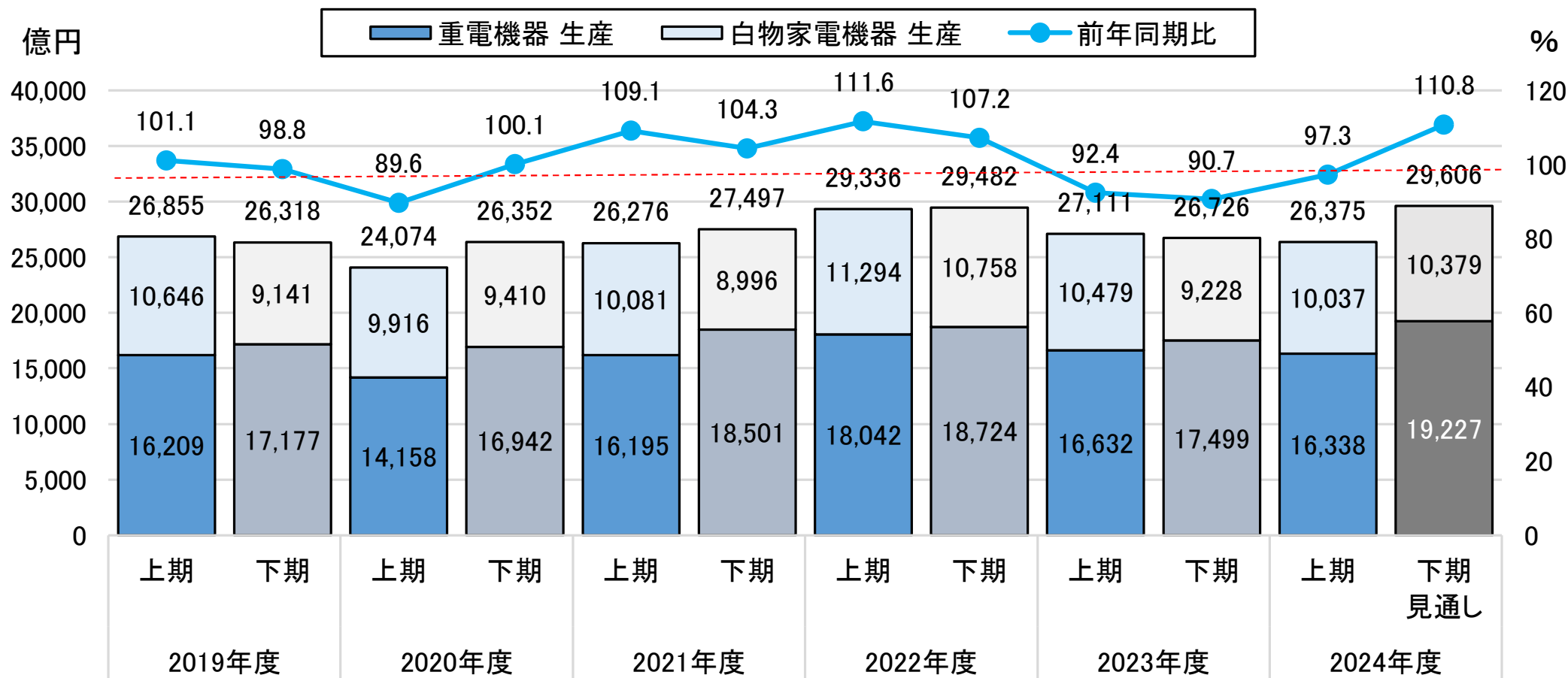


主な増減要因	
白物家電機器合計	<ul style="list-style-type: none"> 全国的な暑さ等によりルームエアコンの出荷が好調だったほか、電気シェーバー、ヘアドライヤー等の理美容機器も好調に推移し、前年同期を上回った ↑ 一方で、物価高による消費者の節約志向は継続しており、主要品目のうち冷蔵庫、洗濯機は前年同期を下回っている ↓
ルームエアコン	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に記録的な猛暑となったことや、前年の出荷が低調だったこともあり、前年同期を上回った ↑
電気冷蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> 単価は上昇しているものの、数量が減少しており、前年同期を下回った ↓
電気洗濯機	<ul style="list-style-type: none"> 前年が上期として過去最高の出荷金額だったこともあり、前年同期を下回った ↓
電子レンジ	<ul style="list-style-type: none"> 単価上昇が出荷金額を牽引し、前年同期を上回った ↑
ヘアドライヤー 電気シェーバー	<ul style="list-style-type: none"> 高機能高付加価値製品へのシフトやインバウンド需要により、前年同期を上回った ↑

- 物価高騰による消費者マインドの冷え込みは継続しているが、製品単価の上昇や、高付加価値製品へのシフトにより、国内出荷は**前年並み**→と見通している
- 理美容家電は、高機能製品の人気やインバウンド需要を背景として、引き続き伸長することが期待される

■ 參考資料

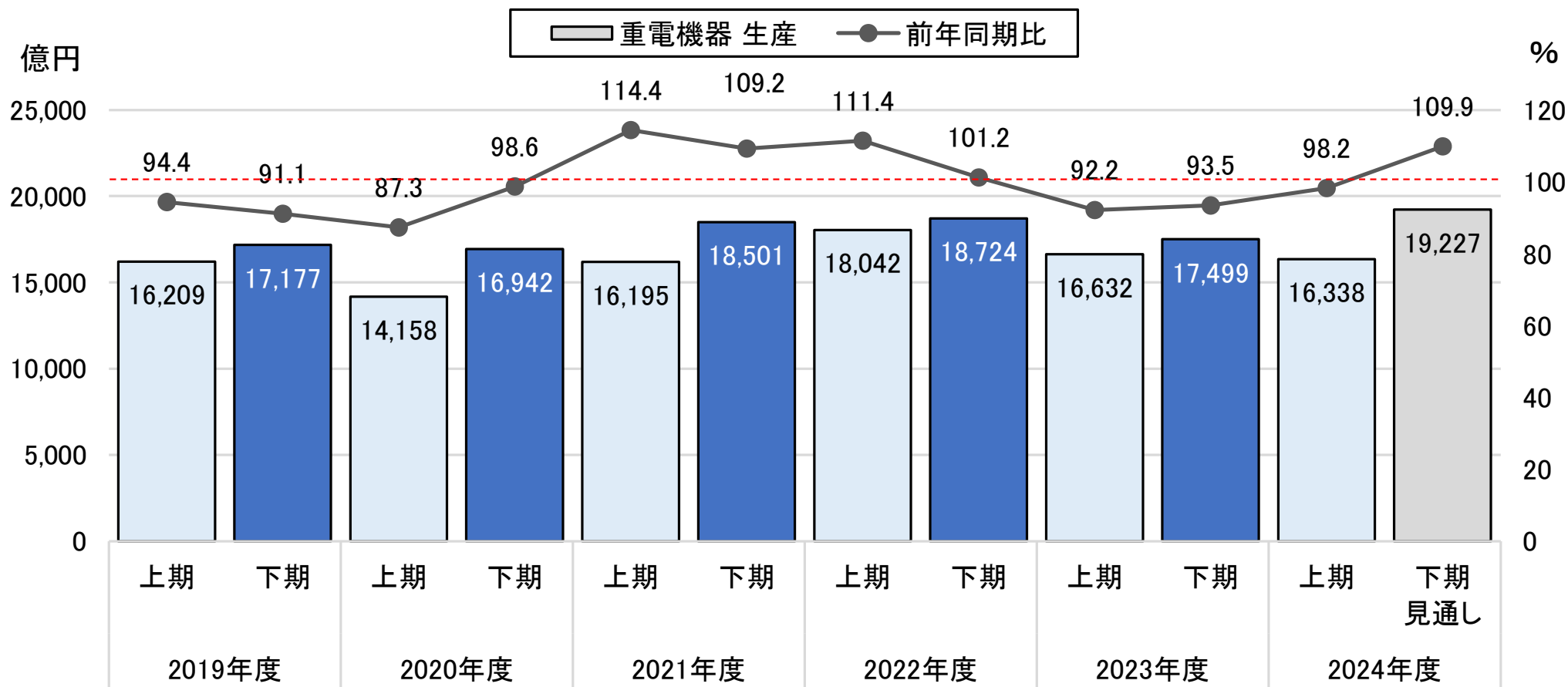
1. 【電気機器】国内生産額推移 – 半期別



出所：経済産業省 生産動態統計

【備考】 1: 2024年度下期見通しは、2024年3月13日に発表したものである

2. 【重電機器】国内生産額推移 – 半期別



出所：経済産業省 生産動態統計

【備考】 1: 2024年度下期見通しは、2024年3月13日に発表したものである

3. 【重電機器】 国内生産実績 – 生産分類別



経済産業省 生産動態統計の品目を、JEMAが受注形態別に「受注生産品」と「産業用汎用電気機器」に分けて分類しました

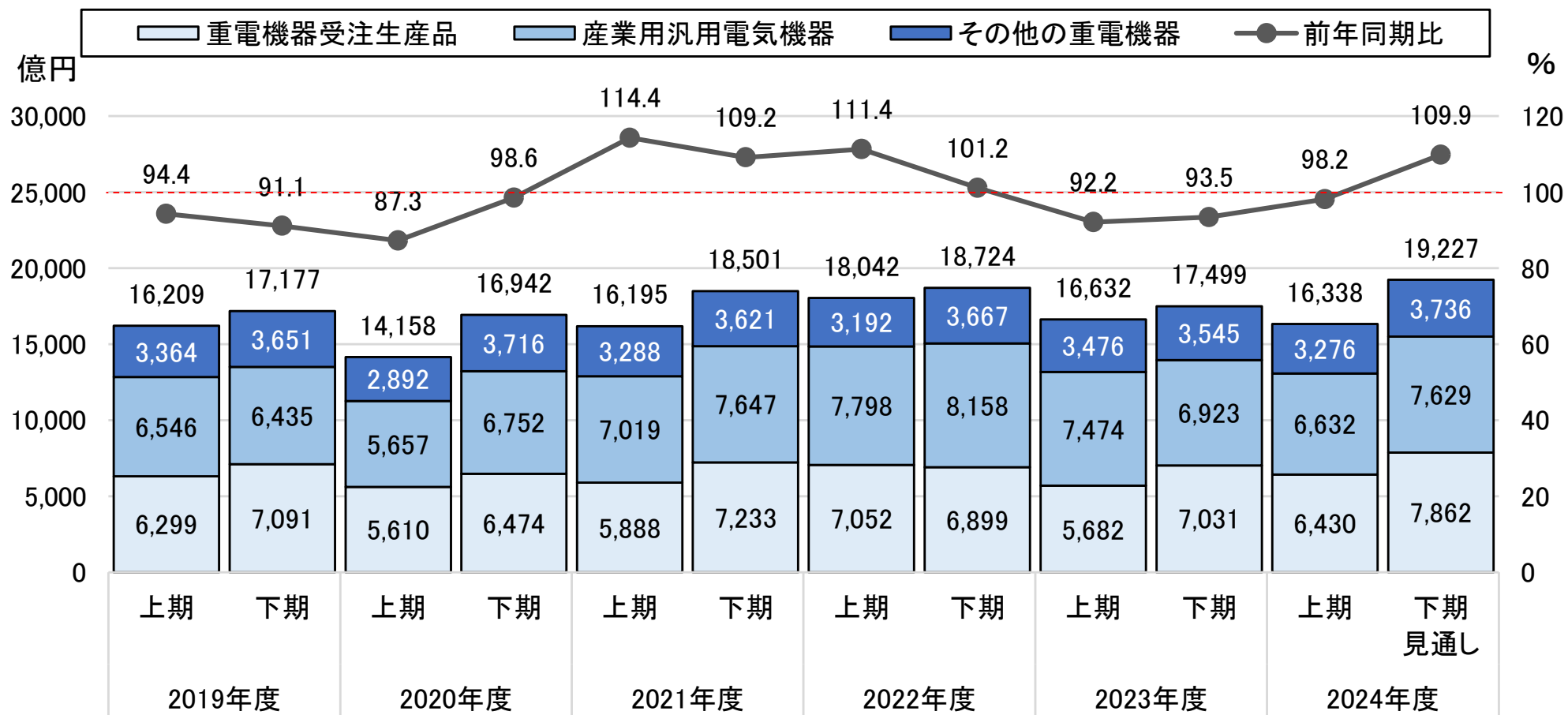
(単位: 億円、%)	2023年度 上期	2024年度 上期	前年同期比
重電機器合計	16,632	16,338	98.2
受注生産品*1	5,682	6,430	113.2
発電用原動機	1,144	1,663	145.3
電力・一般産業用機器	4,538	4,767	105.1
産業用汎用電気機器*2	7,474	6,632	88.7
その他の重電機器*3	3,476	3,276	94.2

出所: 経済産業省 生産動態統計

- * 1 受注生産品: 発電用原動機(蒸気・ガスタービン等)、発電機、大容量変圧器等
電力及び産業用(自動車、鉄鋼等)向けの電気設備
- * 2 産業用汎用電気機器: 汎用インバータ、サーボモータ、プログラマブルコントローラ等
需要先が多岐にわたる、主に標準仕様で生産する量産品
流通は代理店経由が多い
- * 3 その他の重電機器: 電気炉、電気溶接機、分電盤等
機器としては重電機器受注生産品または産業用汎用電気機器であるが、
データとして分類できない機器

【備考】1: 端数四捨五入のため、積み上げ値と合計が一致しない場合がある

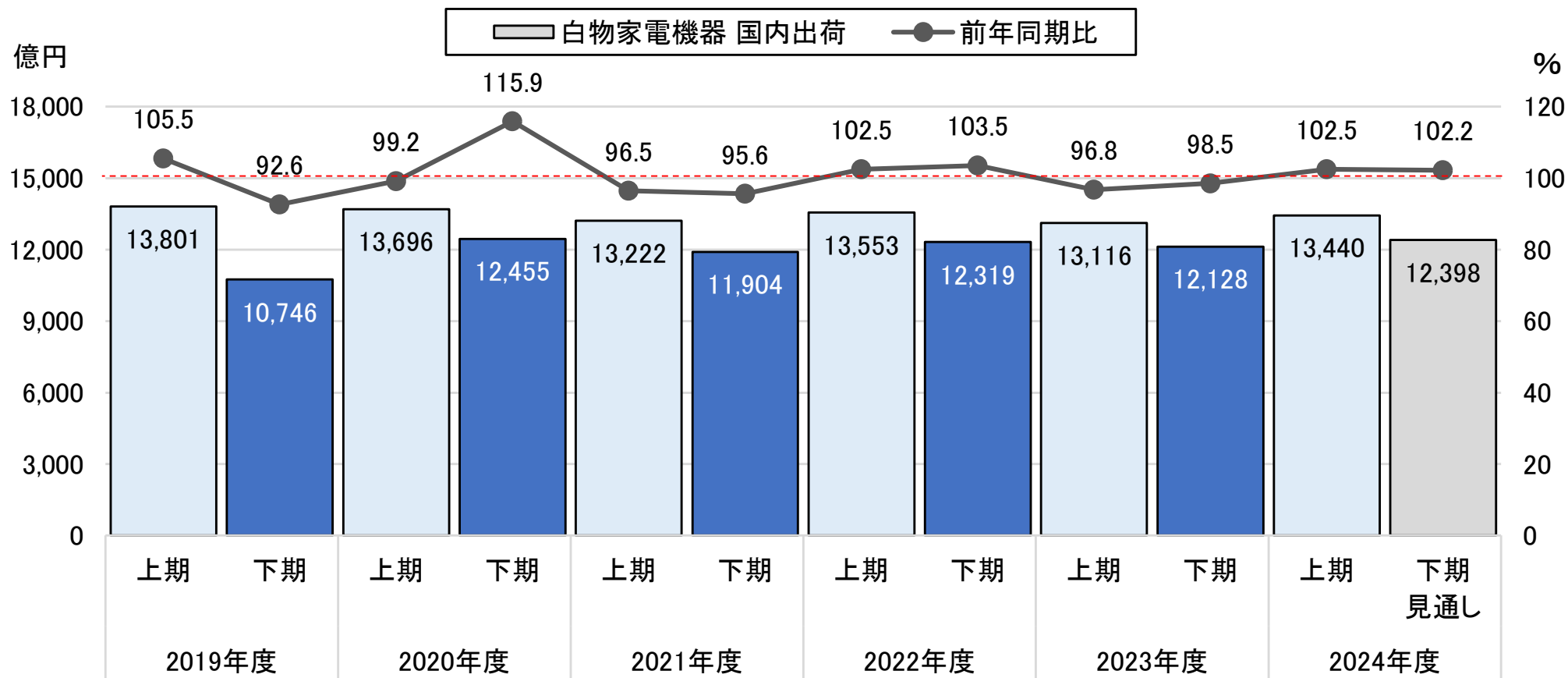
4. 【重電機器】国内生産額推移 – 生産分類別



出所：経済産業省 生産動態統計

【備考】 1: 2024年度下期見通しは、2024年3月13日に発表したものである

5. 【白物家電機器】国内出荷額推移 – 半期別



出所：日本電機工業会統計、日本冷凍空調工業会統計(ルームエアコン)

【備考】 1: 2024年度下期見通しは、2024年3月13日に発表したものである

6. 【白物家電機器】 国内生産額実績



白物家電機器の上期国内生産実績

(単位:億円、%)	2023年度 上期	2024年度 上期	前年同期比
白物家電機器合計	10,479	10,037	95.8
ルームエアコン	3,245	3,389	104.5
電気冷蔵庫	1,293	1,155	89.3
電気洗濯機	643	605	94.1
電気掃除機	207	243	117.2
電気がま*	267	237	88.8
その他(上記5品目以外)	4,825	4,409	91.4

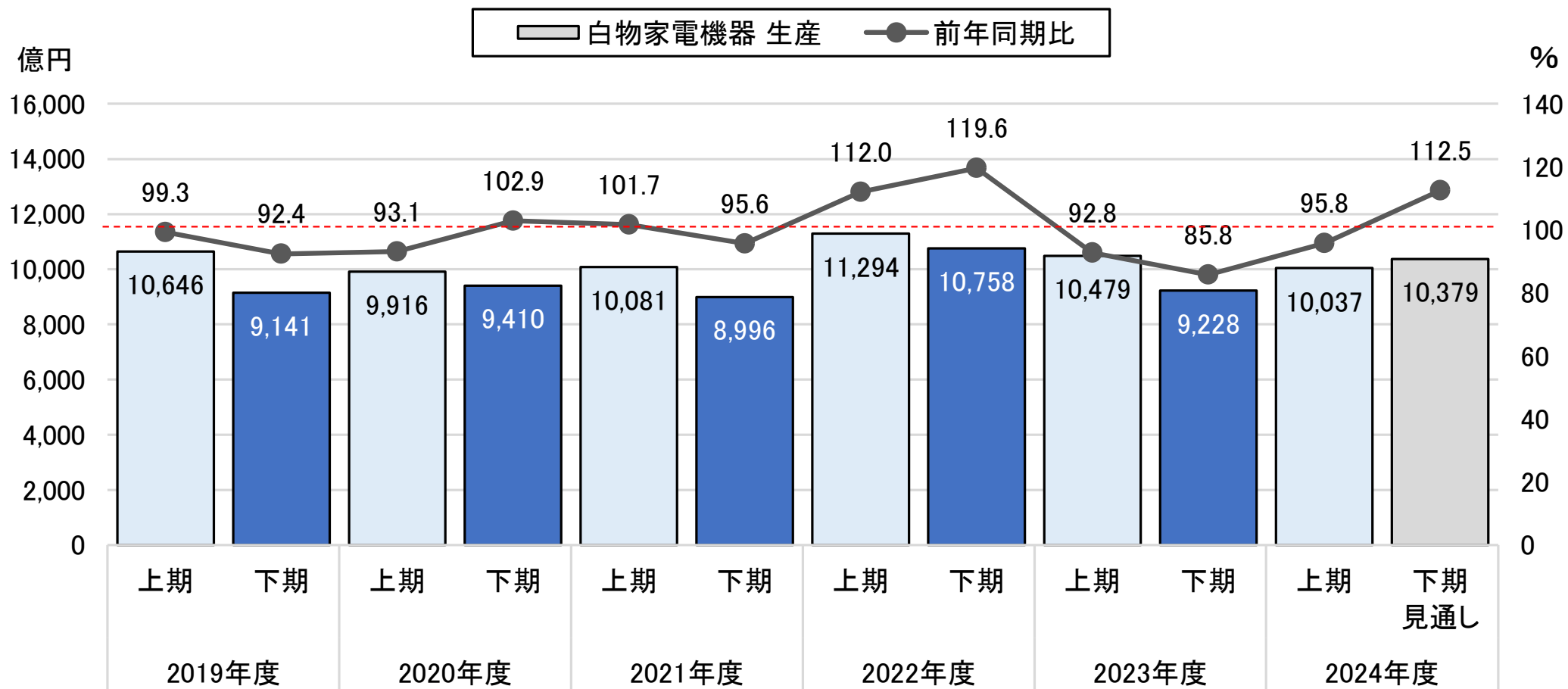
出所:経済産業省 生産動態統計

【備考】1:電気がま:保温機能(ジャー)がないものも含む

2:端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合がある

3:内訳詳細データについては、別紙「2024年度 上期の電気機器の状況 参考データ」をご参照

7. 【白物家電機器】国内生産額推移－半期別



出所：経済産業省 生産動態統計

【備考】 1: 2024年度下期見通しは、2024年3月13日に発表したものである